

ともに“生きる”と“支える”

～言葉とつながりが育むあたたかなケア～

患者が“自分らしく生きる”ことを支えるためには、身体症状の緩和とともに、思いや価値観を丁寧に受け止め、多職種が協働していくことが求められます。

言葉・対話のあり方、病院と地域をつなぐ支援の視点を多職種で学び、在宅緩和ケアにおける“生きる・支える”を一緒に考えてみませんか。

日 時 2026年1月12日(月) 13:00~16:00

会 場 静岡がんセンター 研究所 しおさいホール

対 象 静岡県でがん医療に携わる医師・看護師・医療関係者 定員100名（先着順）

主 催 静岡県立静岡がんセンター

講演1 症状緩和と「生きる」を支える緩和医療	静岡がんセンター 緩和医療科部長 佐藤 哲觀
講演2 ことばが生き方を支えるとき －患者・家族・医療者をつなぐコミュニケーション－	きせがわ病院 副院長 大坂 巍 先生
講演3 患者の価値観を治療に活かす意思決定支援 －“自分らしく生きる選択”を支えるケア－	静岡がんセンター がん看護専門看護師 萩谷 翔太
講演4 その人らしく暮らすを支える地域の力 －多職種でつなぐ地域連携－	きせがわ病院 看護・介護統括局長 塩田 美佐代 氏
全体ディスカッション 「ともに“生きる”と“支える”を考える」	座長 静岡がんセンター 緩和ケアセンターGM 鈴木 知美

申込期間 2025年12月10日(水)～12月25日(木)

静岡県立静岡がんセンターホームページ又は二次元コードよりお申込みください。⇒



※日本医師会生涯教育制度（CC80：在宅医療 3単位）に申請します。

※認定看護師・専門看護師の資格更新ポイント付与の対象になります。

問合せ 静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター事務局

電話 055-989-5222(代) E-mail gankyoten@scchr.jp

